

# 明和と共に歩んで

明和誕生50周年を記念して明和誕生と同じ昭和30年に生まれたかたから、「明和」の思い出と希望を語っていただきました。

氏名 吉永裕身子さん  
地区 梅原  
職業 主婦  
趣味 音楽鑑賞  
無農薬の野菜作り



氏名 機村高久さん  
地区 斗合田  
職業 農業  
趣味 スポーツ観戦、音楽鑑賞



さらさら祭りの笛の音と、ブルックナーのシンフォニーが似合う東部地区に生まれ、気がつくとも50年という歳月、早いものです。

南に利根川、北に谷田川を見渡す限りの田園地帯、幼稚園のころ始めた草野球は、もっぱら刈り取った後の田んぼの中。目指すは王、長嶋、プロ野球選手。厚い氷の張る排水機場でのアイススケートも、スリル満点の交友の場、自然の中での遊びがたくさんあった少年時代は、私の中の原風景でもあります。

昭和40年代半ば過ぎ、大きな変化が起きます。それは東北自動車道路の縦断です。これにはたまげた。何故って3方向を勝手に囲まれてしまったからです。しかし、考えてみれば物資の流通等、便利な道路ができたのですから溜飲(りゅういん)ものとしませう。

現在私は、農業を営んでいます。今年もまた収穫の秋を迎え、黄金色に稲穂波打つ田んぼには顔見知りの人たちと色とりどりのコンバインが活躍し、昔のように一家総出の賑(にぎ)わいではないにしろ、刈り

「明和誕生」50周年、おめでとございます。「私の50年」と言うと、父の仕事の関係で愛知県で生まれ、明和、東京、北海道と転居しましたが、その後ここ明和の地で42年間過ごしてきました。

明和での小さいころの思い出と言えば、家のすぐ近くを流れている利根川での水遊びです。近所の友達と一緒に、庭先から川縁まで裸足で歩いて行ったことを覚えています。小学校時代の思い出では、私が二年生の時に佐貫小学校と梅島小学校とが合併し明和

西小学校が誕生したことです。開校当初は、県で最初の水洗トイレという設備と完全給食の導入により、多くの見学者が毎日のように来校していました。

10数年くらい前の事ですが、息子の小学校入学式に参加した時、全員で校歌を斉唱する場面があり、私が校歌を歌っている姿を見た息子は、「どうして校歌を知ってるの?」と聞いてきました。西小は私の母校と話すとき本当に驚いた様子でした。このように親子で同じ校歌を歌えたことも、

取りも無事に終えようとしています。50年という流れを改めて感じ次の世代の人たちが確信を持って生活のできる「明朗にして平和なる理想郷の象徴」としての明和町であり続けて欲しいと思います。



1歳2か月ころの私

今では懐かしい思い出の一つです。

この明和に住んで、楽しい思い出がいっぱいできました。これからも大好きな明和の一町民として、残りの人生をしっかり歩んでいきたいと思っています。



昭和38年当時の西小校舎